



目次

新年のごあいさつ	1
病診連携施設紹介「武田内科小児科医院 ご挨拶」	2
看護部だより「新人紹介」	3
栄養相談室「糖尿病教室」	4
医療安全管理室	4
ア・ラ・カルト「白内障手術」	5
お知らせ「重症心身障害病棟作品展覧会」「春のインターンシップ」患者数	6
外来医師担当表・特殊外来ご案内	7

発行：独立行政法人 国立病院機構 甲府病院 広報委員会
発行責任者：長沼博文
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35
電話：055-253-6131
ファックス：055-251-5597
ホームページ：<http://www.kofu-hosp.com/>
Eメール：kofu@kofu.hosp.go.jp
携帯サイト用QRコード



鳳凰三山

薬師岳
(2780m)

観音岳
(2840m)

地藏ヶ岳
(2764m)

甲斐駒ヶ岳
(2967m)

「南アルプス—甲斐駒ヶ岳と鳳凰三山—」

山に囲まれた山梨県の中でも、とりわけ印象的なのが、山梨・長野の県境をなす3,000m級の山々からなる連峰「南アルプス」。この写真は、当院の事務室（3F）から撮影したのですが、当院の西側に面した窓からであれば一般の来院者の皆様にも同様の眺望をお楽しみいただけます。

（写真・文 管理課庶務係 山田 昌弘）



独立行政法人国立病院機構 甲府病院の理念

1 基本姿勢

患者さんの目線に立ち、優しさと思いやりをもって病める人々が心を癒し、病を回復し健康を維持されるよう努めます

1 政策医療と地域医療

成育、重症心身障害を中心に当院で提供する全ての医療を政策医療として位置づけ、国民の健康と安全に寄与すると同時に、地域医療として山梨県民の皆様へ還元し、県民に選ばれ、お役に立てるように日々努力します

1 患者さんの権利

患者さんの平等で適切な医療を受ける権利、知る権利、選ぶ権利を守ります

1 研究と教育

全ての医療職種に貢献できる質の高い臨床研究と教育研修の推進に努めます

1 安定した経営

たゆまぬ意識改革を行い、独立行政法人として安定した経営を目指します

院長あいさつ



新年のごあいさつ

病院長 長沼 博文



平成22年と新しい年になりましたが、山梨県の医療情勢の問題点に大きな好転はなさそうです。問題点の主たるものは、やはり医師不足です。山梨県全体で見ると、未だ医師不足で困っている病院が多いのが実情で、特に県の周辺地域で顕著です。当院はどうかと言えば、麻酔科医、眼科医、内科医等が増えて何とか地域の要望に応えられるようになりつつあるという段階です。このような状況ですが、当院はこれまでどおり、4疾病のうち、がん、糖尿病、脳卒中に、また5事業のうち、救急医療（小児救急を含む）、周産期医療、小児医療に取り組んでゆきます。これらは、国の政策医療として取り組んでいるものの一部です。また、地域に密着した医療にも取り組んでゆきます。

次の問題は、診療報酬の改定のことです。4月からは全体で少しプラス改定になる予定ですが、病院経営の改善にはまだ不十分だと思います。各病院の努力も必要ですが、収支が黒字になって医療機器等の更新が充分出来るようにならないと、患者さんに満足されるような医療の提供が困難になります。病院ばかりが苦しんでいて、関連の製薬会社、医療機器メーカー等が黒字を出しているという状況はおかしなものです。



昨年、政権が民主党に代わり、日本経済をどのように立て直すのか、五里霧中の状態です。世界的な経済の問題もあり、しばらくの間は医療の分野に財源を十分に回せない状態が続くと予想されます。日本はデフレスパイラルに入っているようで、大企業を始めとして「自分だけよければ病」が蔓延しているのが問題です。個人レベル、会社レベル、また病院レベルでもそのような状態になっているのではないのでしょうか。少しは他人のことも考えながら行動するようにしたいものです。

いろいろと難題がありますが、本年もよろしくお願い致します。

病 診 連 携 施 設 紹 介

「武田内科小児科医院 ご挨拶」

医療法人保坂会 武田内科小児科医院

理事長 医学博士 保坂 洋一郎

武田内科小児科医院は昭和62年5月に山梨大学北屋形2丁目に開設されました。

“最新の医療を市民の皆様の身近に”をモットーに、高血圧降圧治療法、心臓疾患（不整脈・虚血性心疾患）を始め、胃内視鏡を用いた多数の早期胃癌の発見又、通院での消化性潰瘍の根治療法等を中心に発見、診療をしてまいりました。

近年は薬剤の進歩も著しく、以前では入院治療が一般的であったうっ血性心不全症、出血性消化性潰瘍、肺炎（軽・中等度）等も、外来で治療可能性例も増加しています。

開院以来、当時の国立甲府病院様には大変お世話になり、特に、外来・小児科・内科の諸先生方、スタッフの皆様方にはこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

最近では長沼院長先生（脳外科）の特殊外来も大いに利用させていただき、診療の大きな助けとなっています。

地域の患者様はもとより、我々診療所医師にとりましても病診連携（双方向）は、今後さらに重要性が増すと思われまます。当院は協力医療機関として、独立行政法人国立病院機構甲府病院と共に地域住民の皆様方の疾病治療・健康保持のため邁進して参りたいと思ひます。



医院外観

医療法人 武田内科小児科医院

甲府市屋形2-1-6

電話 (055) 251-3663

<診療科目>

○内科 ○循環器科 ○胃腸科 ○小児科

<診療時間>

平日 午前 9:00~12:00 午後 2:30~6:00

木・土曜日 9:00~12:00 午後 休診

◆日曜・祭日は休診いたします

看護部だより

副看護部長 白川 由起子

看護部では昨年4月に12名の新人を迎え、国立病院機構甲府病院看護部の一員として安全・安心な看護が提供できるよう教育・支援を行ってきました。それぞれが個性を生かしながら成長しております。これまで、3か月・6か月目の新人の思い、がんばりをお伝えしてきましたが、今回は看護師として1年が過ぎようとしている今の気持と2年目を迎えるにあたっての抱負を5人に語っていただきました。

看護師1年間を振り返って

2病棟 山崎 良子



看護師として就職してから1年が経とうとしています。就職してからは対象となる“新生児”を見ることも、触れることも、そして看護をすることすべてが初めてのことばかりで、病棟に慣れることや、日々の業務を覚えて行くことで精一杯でした。そんな日々の仕事について行くのがやっとな中で、希望で配属された病棟であっても、自分は看護師に向いていないのではないかと考え

て、つらい時期もありました。しかしプリセプターの方をはじめ、病棟の先輩スタッフの声かけや、指導を頂いたお陰で徐々に病棟にも慣れて行くことができ、自分のできないことや分からないことを少しずつ克服して、看護技術を身につけることができました。これからも、自分は目の前にいる患児に何ができるかを考え、また4月に就職し始めた時の「頑張ろう」という気持ちを忘れずに日々成長していきたいと思います。

1年間を振り返って

2病棟 花澤 優夏



助産師として就職してから1年が経とうとしています。この間様々な経験ができ、とても早く過ぎたように思います。

就職する前は、憧れていた助産師の資格をとることができた喜びと、一社会人として責任を持って働くことへの不安でいっぱいでした。実際に就職してみると、やはり責任の重さもそうですが、慣れない環境に自分がいること、3交代

という不規則な時間で仕事をするなど毎日が緊張の連続で、いろいろ悩んだ日もありました。しかし、プリセプターをはじめとする先輩方に支えられながら少しずつ仕事に慣れることができました。

これから、いよいよ分娩介助が始まります。赤ちゃんの誕生はとても感動的なことですが、それと同時に家族の始まりを支援する立場として責任があります。その責任が果たせるよう日々学習し、経験を積み重ねていきたいと思います。

1年間の振り返りと今後の抱負

3病棟 岩間 由紀子



私が整形外科病棟で働きはじめて1年が経とうとしています。骨折で痛みの強い患者さんに対して、どのように援助したら良いか、自分の看護技術の未熟さに悩みましたが、今は先輩方の指導のもと、個々の患者さんに合わせた看護が提供出来るようになってきたのではないかと

思っています。

日々の看護の中で、患者さんからの感謝の言葉に励まされ、また笑顔で退院される姿をみる時、看護師になって良かったと感じています。

今後もさらに一人ひとりの患者さんにあった看護が行えるよう知識を深め、技術を磨いていくと同時に笑顔を大切に看護師として成長していきたいと思っています。

1年間を振り返って

6病棟 中込 身江



重症心身障害病棟で働き始めて、早くも1年が経とうとしています。患者さんはそれぞれ自分の伝える方法で看護師に話しかけてくれます。働き始めた頃は、患者さんの訴えが理解できず、受け止めることが困難でしたが、

日々患者さんに触れ、関わる中で少しずつコミュニケーションも図れるようになり、患者さんに合った看護ができるようになってきました。今は患者さん1人ひとりの個性に合わせた援助・支援ができるように努めています。これからも重症心身障害児(者)の方々と共に自分も成長していきたいと思っています。

1年を振り返って

7病棟 早川 真生



4月に7病棟(重症心身障害病棟)に配属になり1年が経とうとしています。振り返ると、業務になれることや病棟の環境になれることに一生懸命で、あっという間の1年でした。重症心身障害病棟という事もあり、患者さんとのコミュニケーションも上手にとれず、最初は戸惑いもありました。また学生の頃と比べ、1つ1つの行為に責任が伴い、初めて経験する事が多く、緊張と

学びの毎日でした。しかし、プリセプターの方を始めとする先輩方の指導を頂き、少しずつですが成長することができました。今では患者さんとコミュニケーションが取れる様になり、業務にも慣れ、自分の出来ることも少しずつ増えていき毎日楽しく働くことができています。

これから2年目になりますが、初心を忘れず知識や技術が深められる様、日々の学びを大切にしながら頑張っていきたいと思っています。

栄 養 相 談 室

外来糖尿病教室

栄養管理室長

白井 敏昭

■月例勉強会

当院では毎月第4金曜日の午後、外来に通院されている糖尿病の患者さんを対象に、糖尿病教室を開催しています。医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、栄養士がチームを組み、それぞれの立場からサポートさせていただいています。

平成8年7月に第1回目が開催されたようですが、定かではありません。今回はこの紙面をお借りし、今まで実施してきた内容(演題名)を部門別に紹介させていただきます。

★黒澤内科医長

(安藤循環器医長・古市眼科医長・相川泌尿器科医長・川口内科医師)
 ▷糖尿病の基礎 ▷糖尿病合併症 ▷糖尿病による心疾患障害
 ▷腎症について ▷神経障害について ▷運動療法について
 ▷薬物療法について ▷インスリン抵抗性について ▷検査の意味について ▷食事療法について ▷糖尿病網膜症について
 ▷糖尿病と泌尿器疾患 ▷糖尿病性神経障害 ▷糖尿病と腎症
 ▷糖尿病について ▷メタボリック症候群 ▷糖尿病の治療について ▷運動の効用について ▷最新のお薬について ▷糖尿病とは ▷糖尿病合併症最前線 ▷糖尿病の合併症パートⅡ
 ▷災害時について ▷年末年始の過ごし方 ▷メタボリックシンドロームについて ▷糖尿病最近の話題 質問コーナー ▷歯周病も合併症の一つです ▷災害時の心がまえについて ▷血管年齢について

★看護師

▷フットケアについて ▷感染症とシックデイについて ▷インフルエンザについて ▷運動療法について ▷年末年始の過ごし方 ▷インフルエンザの予防

★薬剤師

▷薬物療法について ▷2型糖尿病と動脈硬化のお話 ▷糖尿病のお薬について ▷糖尿病の合併症について ▷メタボリックシンドロームと薬剤 ▷治療薬の副作用と新薬について

★臨床検査技師

▷高脂血症-脂質について- ▷生理検査について ▷糖尿病性腎症!どんな検査が必要? ▷造血のしくみ ▷検査報告書ができあがるまで ▷血糖について ▷糖尿病の検査について ▷糖尿病と感染症について ▷狭心症と心筋梗塞の違いについて ▷尿検査について ▷糖尿病の検体検査について ▷糖尿病と生理検査について ▷検査について~し、め、じ!とは~

★理学療法士

▷実技!ストレッチ体操 ▷有酸素運動をはじめよう ▷ストレッチとその効果 ▷運動療法の効果について

★栄養士

▷クイズ!糖尿病 ▷お酒と居酒屋メニュー ▷薄味でおいし

く食べよう ▷食欲の秋!お腹一杯食べたいな ▷豊作!芋掘りシーズン ▷年末年始!お寿司 回転寿司 ▷どんなおせちにしよかな ▷健康食品について ▷楽しく運動!美味しくおやつ ▷難消化性デキストリン ▷アミノ酸と運動の関係 ▷年末年始のお食事なあに? ▷外食の工夫について ▷カロリーって何? ▷炭水化物って何? ▷たんぱく質って何? ▷脂質って何? ▷夏休みちょっと外食が多くなる ▷キノコにたっぷり食物繊維 ▷塩分って何? ▷冬の食中毒に注意 ▷外食の楽しみ方 ▷特定保健用食品について ▷適正な食事量について ▷運動と食事療法 ▷シックデイについて ▷年末年始の食生活 ▷メタボリックシンドローム対策 ▷糖尿病とアルコール ▷おいしく食べるコツ ▷歯の健康と栄養について ▷糖尿病食事療法クイズ ▷食事に関する質問コーナー ▷お惣菜やお弁当の選び方 ▷間食の考え方 ▷カーボカウント法について ▷暑い夏を乗りきろう ▷体を温めるお食事について

こうして演題だけを見てみると、重複した物が数多く見られますが、実際の内容はその都度ポイントや切り口を変え、且つタイムリーな内容で患者さんにとって大変参考になっているものと思われまます。

■食事会

毎年2月と10月の2回、当院の調理師さん・委託職員さん・病院関係職員の方々の協力のもと、実際に食事を食べながらの勉強会もこれまでに13回実施しています。

実施日	テーマ(料理名)	会場	参加人数 (患者・職員)
H13・11・16(金)	初めての食事会 カニ豆腐・真鯛刺身・つくね煮	ベリカカフェ	21名
H14・2・22(金)	鍋料理 かっぱ巻・伊勢・海鮮鍋	ベリカカフェ	30名
H14・5・24(金)	家庭料理(日本そば) 鰻の西京焼・茄子炒み揚・茗荷巻	ベリカカフェ	18名
H14・10・25(金)	家庭料理 鶏肉のきのこたっぷりソース・かぶら煮	ベリカカフェ	18名
H15・11・28(金)	家庭料理 鮭のほんちん焼・卵豆腐のこあんかけ・炊き合せ	バブリカ	16名
H18・2・24(金)	にぎり寿司を召さんで 寿司・きのこおひんぎ・山芋肉ソース焼	4F会議室	16名
H18・10・27(金)	秋の食材を堪能で 鶏ささぎのソース焼・かんかん焼・焼きたたき風から選別	4F会議室	27名
H19・2・23(金)	季節の食材バイキング 主菜・前菜の付・焼し・惣菜各々バイキング	4F会議室	22名
H19・10・26(金)	季節の料理をバイキング形式で	4F会議室	41名
H20・2・22(金)	ちらし寿司 香野菜の炊合せ・うどの梅肉ソース・せりのナムル焼	4F会議室	36名
H20・10・24(金)	バイキング 秋の旬の食材と焼肉ソース・きのこソース包焼より選別	4F会議室	30名
H21・2・27(金)	あれも食べたい!これも食べたい! 食物繊維たっぷりメニューで	4F会議室	34名
H21・10・23(金)	食事でコレステロールダウン 焼梅しそ巻と焼ネギソースから選別	4F会議室	34名

次回は平成22年2月26日(金)実施予定です。テーマは「麺食い(仮称)」

医療安全管理室より

副院長 久富 幹則



今日、すべての職業・職種に安心と安全が求められている時代であります。もちろん病院においては患者さんの安全を最優先に考え診療にあたることは、良質な医療を提供する最も基本的な事項であります。

しかし残念ながら私たち人間はどんなに優秀な人でも“うっかりしたり、勘違いしたり”をなくすことは出来ません。労災事故に関する heinrich の研究では、『1件の事故の背後には29件の軽い事故があり、事故に至らなくとも同様な事象が300件存在していた』といわれています。すなわち1件の事故発生の意味することは、類似の問題が発生しやすい因子がその組織の環境に存在していることを意味していると考えなければなりません。

このような認識のもとに、医療安全管理室では、職員より報告されているヒヤリ・ハットを収集し、各職場のリスクマネージャーで構成しているリスクマネジメント小委員会において、当事者の責任を追求するのではなく、その事象の発生した状況を十分に調査・分析し再発防止策を立てています。委員会で検討した対策を職員にフィードバックし、実践に繋げていくことが医療安全管理室の大切な責務と考えています。

もちろん良質で安全な医療を提供するのに欠かせないのは、職員一人一人の安全に対する“意識”です。どうぞ今年もさらにその意識を高めて、日々の診療にあたっていただくことを期待しています。よろしくお願ひします。

アラカルト

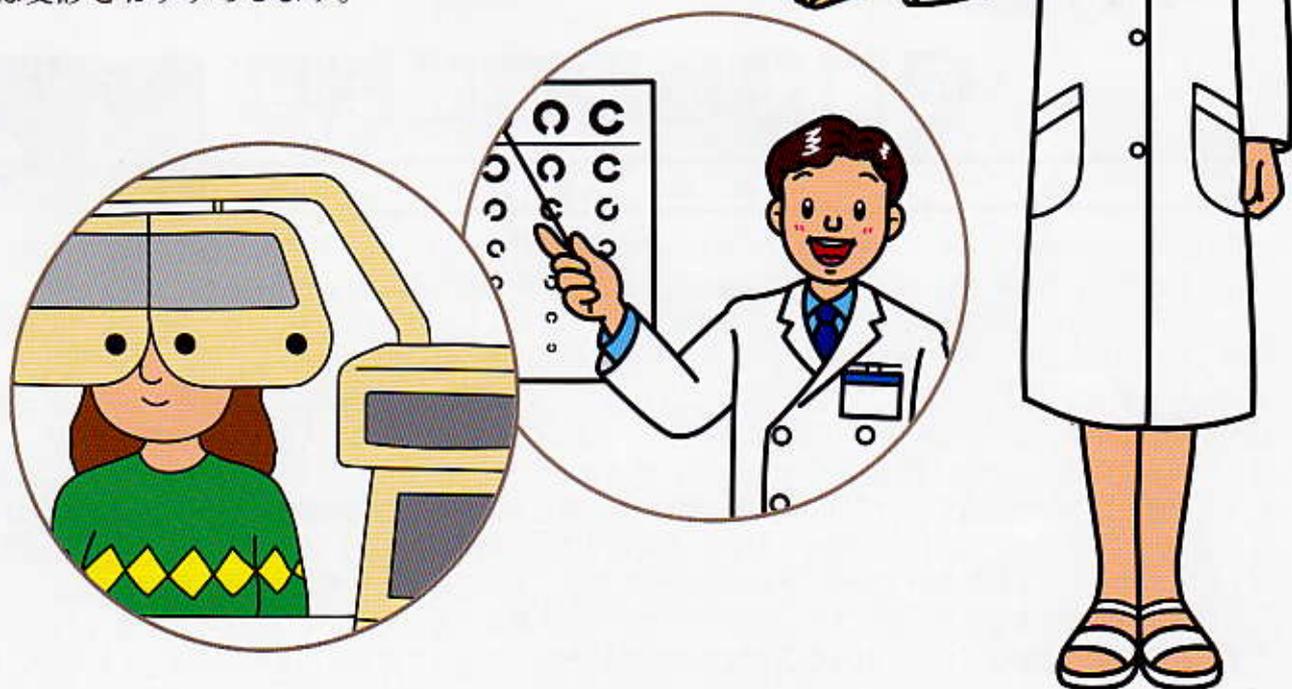
「眼科 白内障手術」

眼科医長 地場 奈実



当科では、平成22年1月中旬より、毎週月曜日に白内障を中心に手術を再開しましたのでお知らせいたします。基本的に2泊3日の入院になりますが、患者さんの諸事情に柔軟に対応いたします。これまで皆様には長らくご不便をおかけいたしましたがよろしくお願いいたします。

ここで少し白内障について説明いたします。白内障の症状としては、眼のかすみ、ぼやけ、まぶしさ、疲れ眼、近眼、老眼などが起こります。濁った部分によって、光が水晶体を通過して眼の奥に届くのが妨げられるため、かすみ等の視力低下を感じることがあります。また、中央部分が主に濁っているタイプでは、明るいところで黒目が小さくなる（縮瞳する）と見づらく、薄暗いところで黒目が大きくなる（散瞳する）と逆に見やすいと言った現象が起こることもあります。一般に水晶体は年齢と共に濁りが強くなり、厚みが増して凸レンズの度が強くなり、より硬くなることから、近視や老眼が白内障と同時に進むことも少なくありません。ただし、これらのような症状があるからと言って、必ずしも白内障とは限りません。同じ様な症状が網膜剥離などの、放っておくとやや急激に悪くなる病気の初期症状であることもあるため、他に異常がないかどうか正確な診断が必要です。老人性白内障は時間をかけて徐々に進行するもので、一般的には白内障の診断を受けたからと言ってすぐに手術をしなくてはいけないということはありませんが、点眼では治らないので根本治療は手術になります。手術の適正な時期については患者さんの職業や見え方の要求等で個人差があります。まずは受診をおすすめします。



お知らせ

重症心身障害病棟 作品展示月間のお知らせ

重症心身障害病棟では、3月に作品展示月間を予定しています。日常の病棟生活で思っていることを詩で表現したり、創作作品を作成したり、皆で3月の作品展示に向け頑張っています。

どうぞ重症心身障害病棟の作品をご覧ください。

■場 所：正面玄関ロビーの右側、及び、重症心身障害病棟エレベーターホール

■期 間：平成22年3月1日(月)～平成22年3月31日(水)



春のインターンシップに参加してみませんか！

■期間：平成22年3/15(月)～3/19(金)

※一人1～2日の期間となります

■実習病棟：高度周産期医療センター

外科・内科系病棟

整形外科病棟

重症心身障害病棟

手術室

※募集人数、実習病棟、宿泊については相談に応じますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

連絡先：国立病院機構甲府病院 看護部

副看護部長 白川 由起子

TEL：055-253-6131

FAX：055-251-5597

平成21年度一日平均患者数

入院

※1月分及び年間累計は1月末日現在(小数点以下第2位は四捨五入)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般	91.9	75.2	90.2	81.2	81.4	86.9	81.0	83.0	95.5	93.4			86.3
重心	120.2	120.1	121.3	120.5	119.5	119.8	119.0	120.2	119.9	119.6			120.2
計	212.1	195.3	211.4	201.7	200.9	206.7	200.0	203.1	215.4	213.0			206.4

外来

※1月分及び年間累計は1月末日現在(小数点以下第2位は四捨五入)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	245.8	271.6	246.8	260.6	253.4	269.8	264.6	278.4	281.8	275.3			264.1

外来医師担当表

平成22年2月1日現在

		月	火	水	木	金
内科	1	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊
	2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	呼吸器科 菱山	黒 澤
	3		循環器科 佐野		中 尾	川 口
	4					
脳神経外科		長 沼	長 沼		長 沼	長 沼
特殊外来 午後3時～			渡 邊			
消化器科	1	稲 岡	稲 岡	受10時30分付 大塚		
	2		澤 田	澤 田		澤 田
小児科	1	内 田	内 田	石 井	久 富	久 富
	専門外来 (午後)	畑	中 村	神 谷	海 野	内 田
	摂食外来 (午後)				第3週 小野	
外科	1	鈴 木	牧	角 田	鈴 木	牧
	2				乳腺外来 高橋	肝臓外来 鈴木
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩 野	渡 邊	渡 邊	萩 野	萩 野
	2	千 賀	落 合	落 合	落 合	千 賀
	3					
泌尿器科		野 澤	予約のみ 10時迄 野澤	野 澤	野 澤	野 澤
産婦人科	1	滝 澤	雨 宮	滝 澤	雨 宮	高 木
	2	雨 宮	高 木	原	高 木	滝 澤
	3		原			原
眼科		予約のみ 地場	地 場	地 場		地 場
耳鼻咽喉科					矢 崎	

- 受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)
- 予防接種(小児科) 隔週 金曜日(完全予約制)
- 毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師
- 乳児健診 毎週 火・木曜日(完全予約制)
- 人間ドック 毎週 火・木曜日 脳ドック 毎週 月・火曜日

特殊外来のご案内

- ・「乳腺外来」については、毎週木曜日の午前中に行っています。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。
- ・「肝臓専門外来」については、毎週金曜日の午前中に行っています。肝機能が低下したと感じたら、受診されることをお勧めします。
- ・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。認知かなと思ったら、受診されることをお勧めします。

看護職員募集 随時行って おります



当院ホームページより「受験願書」「採用希望施設票」をダウンロードの上、当院管理課人事担当宛にお送り下さい。折り返しご相談をさせていただきます。



宛先および照会先
 〒400-8533
 山梨県甲府市天神町11番35号
 国立病院機構甲府病院
 管理課 人事係
 電話 055-253-6131(代表)